

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2021年												2022年													
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月 ~7日	8月 ~14日	8月 ~21日	8月 ~28日	9月 ~4日	9月 ~11日	9月 ~18日
カンピロバクター	114	65	137	114	169	115	122	85	45	63	84	78	76	34	43	69	64	99	99	7	8	16	16	12	9	13
病原性大腸菌	39	25	52	61	55	64	63	45	42	102	62	44	29	41	37	62	88	90	30	12	10	12	19	15	13	5
腸管出血性大腸菌	1	0	0	0	1	2	3	2	0	3	2	0	0	0	0	0	1	1	10	0	0	1	1	0	0	0
サルモネラ	6	5	3	1	5	8	10	23	9	25	7	4	4	3	7	5	5	3	16	4	0	3	5	5	4	2
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	16	33	19	39	25	17	15	20	26	21	12	35	12	25	20	32	22	26	7	3	6	3	3	3	2
黄色ブドウ球菌 MRSA	10	10	15	25	31	13	14	19	10	18	8	18	19	10	9	19	28	9	17	5	3	6	4	7	1	4
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	2	1	3	4	4	0	4	5	3	3	3	3	0	0	0	1	3	4	0	0	1	0	4	0	0
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	5	1	5	1	0	1	1	1
ノロウイルス	4	5	6	11	13	9	0	0	0	0	0	2	4	0	7	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和4年第37週(9月12日~9月18日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市	
一類	0	発生なし	0								
二類	4	結核	4			1		3			
三類	1	腸管出血性大腸菌感染症	1		1						
四類	6	日本紅斑熱	4			2				2	
		レジオネラ症	2					1		1	
五類	13	アメーバ赤痢	2	1				1			
		急性脳炎	1				1				
		侵襲性肺炎球菌感染症	1	1							
		梅毒	9					6	2	1	
新型コロナウイルス感染症	15,174	新型コロナウイルス感染症	15,174	1,692	1,280	1,252	650	6,578	1,151	2,571	

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

新型コロナウイルス感染症

第37週に6,578件の報告がありました。新規感染者数は減少が続いていますが、依然として多い状況です。また、8月末から小学校でのクラスターが多数報告されており、注意が必要です。
 マスクの正しい着用、手洗い、ゼロ密、換気など基本的な感染予防対策に加えて、体調不良時の外出自粛など一人一人が対策を徹底することが大切です。



9月24日から30日は「結核予防週間」です!

結核について正しく知り、**早期発見・早期治療**に努めましょう。

- 結核は、今でも**全国で年間10,000人以上の新しい患者**が発生し、約2,000人が命を落としている感染症です。
- 近年では、新しい患者の**6割以上が70歳を超えています**。
- 主な症状は、**長引く咳・たん・微熱、倦怠感(体のだるさ)**で、早めの受診と定期的な健診が大切です。
- 広島市では、65歳以上の方を対象に、無料の**結核健診**を実施しています。特に高齢者では気付かないうちに進行してしまうことがありますので、自覚症状がなくても、年に1回**結核健診**を受けましょう。

【詳しくはこちらをご覧ください】

- ・結核(BCGワクチン)(厚生労働省) https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaaku-kansenshou03/index.html
- ・【結核】結核について(広島市) <https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/72/2932.html>

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号
フィルン	インフルエンザ	-	-	0.15		小児科	流行性耳下腺炎	-	-	0.09	
小児科	咽頭結膜熱	2	0.09	0.22		眼科	RSウイルス感染症	44	1.91	1.58	◀
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7	0.30	1.03			急性出血性結膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	49	2.13	3.42	▶	基幹	流行性角結膜炎	3	0.38	0.88	
	水痘	1	0.04	0.18			細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	20	0.87	1.45	◀		無菌性髄膜炎	-	-	-	
	伝染性紅斑	-	-	0.09			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.03	
	突発性発しん	16	0.70	0.46		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-		
	ヘルパンギーナ	9	0.39	0.76		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-		

急増減	↑	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↘	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	80	10歳未満、80歳代、90歳代
4	レジオネラ症	1	26	60歳代
5	アメーバ赤痢	1	4	60歳代
5	急性脳炎	1	8	10歳未満
5	梅毒	6	235	20歳代・2人、30歳代・1人、40歳代・1人、50歳代・2人